平成29年度 輸出に取り組む事業者向け対策事業に係る海外販売促進活動報告書

平成29年7月31日

農林水産省

食料産業局長　殿

全国農業協同組合連合会

輸出対策部

平成28年度補正における青果物輸出特別支援事業に係る海外フロンテア市場販売促進活動について、下記のとおり報告いたします。

対象国・地域　：　香港

実施期間　：　平成29年 7月20日～7月23日

（フェアに係る出張　：　平成29年 7月19日～7月22日）

「香港　大昌貿易行　JA全農フェア」

１．『大昌貿易行 ＪＡ全農フェア』について

（1）期間　　：平成29年7月20日（木）～7月23日（日）

（2）場所　　：大昌貿易行　各店舗（海怡廣場＆健威坊＆東港城）　青果物販売コーナー

（3）出席者　：大昌貿易行　雷次長
秋田県庁園芸振興課・髙橋氏
JAこまち・大場次長、JA秋田みなみ・柏崎氏、
全農あきた東京事務所・南本所長、全農輸出対策部　笠原
全農インターナショナル米穀・園芸部 白石

（4）内容　　：香港での人気が定番化している桃が旬を迎える事から、桃を主軸にすえて、
現地での販売・PR活動を展開した。
またかねてより香港で普及・拡販を行っている、秋田県産メロンについても、
PRを行い、更なる販売拡大を図った。

（5）販売青果物
メロン（秋田県産）、桃（山梨県産・和歌山県産）等の果物、野菜　（別紙）

（6）出荷日程
7月10日　　東京→香港　船便
7月19～20日　　大昌貿易行　各店舗に到着

（7）着荷状況
すべての商品はほぼ良好だった。

２．大昌貿易行での「ＪＡ全農フェア」実施

（1）期間　　：平成29年7月20日（木）　10:00～17:00（大昌貿易行 本社・内販）
平成29年7月21日（金）　10:00～17:00（大昌貿易行 本社・内販）
平成29年7月22日（土）　10:00～17:00（大昌貿易行 海怡廣場店＆健威坊店）

（2）場所　　：大昌貿易行 本社および各店舗

（3）内容　　：

大昌貿易行は香港内に約30店のスーパーマーケットを持ち、小売り事業の他にも機械などの輸入など多角的事業を展開する現地の老舗企業。

これまでも同社店舗での全農フェアを実施してきたが、今回は同社本社での内部販売も行った。内部販売は同社および同社ビル在勤のビジネスマンが客層の中心になる為、限られたターゲットにはなるが、その反面、経済力のある客層であるため、売れ行きも好調である。

また、今回は香港でも既に人気のある旬の桃に加えて、今後さらなる輸出拡大を図りたい品目、秋田のメロンも加えたラインナップを組んで、PR活動を展開した。

大昌貿易行本社での内部販売の様子

商品リスト

青果物		種類	産地（本部名）	等階級（規格）	容量・入数	箱重量（kg）	Order Quantity（箱単位）
果実	1	ピオーネ	福岡	300g パック	10入	3.0	10
	2	シャインマスカット	山梨	300g パック	10入	3.0	10
	3	サニールージュ（パック）（種無し）	宮崎	300g パック（1房入）	8入	2.4	10
	4	デラウェア(パック)	島根	270パック	4入	1.1	10
	5	大石早生（プラム）	山梨	500gパック	8入	2.0	10
	6	桃	和歌山	13玉		4.0	150
	7			15玉		4.0	50
	8		山梨	16玉・15玉		5.0	100
	9	ハウスみかん（パック）	和歌山	S5玉パック	10入	4.0	15
	10	秋田美人メロン（青肉）	秋田	秀2L	5玉	5.3	50
	11	レノンレッド（赤肉）	秋田	秀3L	4玉	5.3	50
	12			秀2L	5玉	5.3	50
	13	小玉スイカ	秋田	秀L	4玉	10.0	100
	14	大玉すいか	鳥取	秀4L	2玉	15.0	4
	15	パイナップル（ハワイ種）	沖縄	2L	8入	9.6	10
	16	マンゴー（アーウィン種）	沖縄	2L	9入	4.0	3
	17	Passion Fruits	沖縄	9～10玉	9～10玉	1.0	5
野菜	18	キャベツ	青森	L	8個	10.0	15
	19	はくさい	長野	L	4玉	10.0	15
	20	新たまねぎ	兵庫	L	約70玉	20.0	5
	21	えのき	新潟	A	200g×30入	6.0	15
	22	ぶなしめじ	新潟	A	170g×20入	3.4	15
							702

大昌貿易行 本店での内販
全農インターナショナル職員による販促

大昌貿易行 本店での内販
試食効果で多数お買い上げ

大昌貿易行　海怡廣場店での販促
日本産果物ののぼりでPR

大昌貿易行　海怡廣場店での販促
試食提供で好評を博す

大昌貿易行　健威坊店での販促

大昌貿易行　健威坊店での販促
秋田産メロンも試食展開
好評を得てその場でお買い上げ

大昌貿易行 本社にて
香港人の桃の嗜好を調査

大昌貿易行 従業員にご協力いただき
桃の食べ比べを実施

３．大昌貿易行との打ち合わせ

（1）日時　　：平成29年7月20日（木）

（2）場所　　：大昌貿易行　本社内

（3）内容　　：
　大昌貿易行本社のバイヤーと輸出商品の着荷状況の確認、今後の販売拡大及びフェア実施計画について打ち合わせをおこなった。
　また同時に香港での直近のニーズを聞き取り、ニーズにあった商品提供についても協議した。

４．所感

　香港での日本産果物の人気はかなり定着化しており、今回訪問した郊外の店舗でも日本産農産物を求める多くのお客様にお会いし、お買い上げいただくこともできた。
　桃については甘味の強さを求める声が強く、香港用として同地のニーズにあった桃をしっかり確保することが次の課題になる。
　PRを図った秋田産メロンについては、緑肉・赤肉の2種類を用意したが、赤肉の方が人気が高かった。お客様にその理由を尋ねると、赤は中華系にとって縁起の良い色であり、また赤肉のメロンが香港ではまだ珍しいこともあり、好評を博した模様。

５．　今後の進め方

〇今年度最後の全農フェアはあと3回（9月、11月、2月）計画している。
　今回の経験を活かして、よりお客様に喜ばれる品目を提案したい。
〇秋以降はりんご、イチゴなど香港人に人気が高い品目の出荷が始まるため、これら品目を主軸に据えたラインナップを組みたい。
〇今回、秋田県産の赤肉メロンも高評価を得たが、今後は更に現地情報を得て、現地ニーズにあった商品の提供で輸出を伸ばしたい。